

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式

①	申請番号	R3-17
②	研究課題名	当院におけるCOVID-19陽性患者のリハビリテーション介入の実際
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	後方視的にカルテを閲覧し、介入経過を分析することや事例発表により介入効果の検討や情報交換を行うことを目的とする。 北海道理学療法士会 後志支部 令和3年度第2回研修会の事例発表により公表する。
④	利用または提供する情報の項目	性別、年代、既往歴、介護度、バイタルサイン、血液データ、血液ガス分析値、胸部レントゲン・CT画像、身体機能項目、ADL項目、介入の経過
⑤	対象者及び対象期間	2021年5月31日～2021年7月8日に当院4B病棟に入院されたCOVID-19陽性患者
⑥	利用の範囲	研究者および研究代表者
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【 リハビリテーション室 課長 髭内 紀幸 】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。